

# LCS Roof

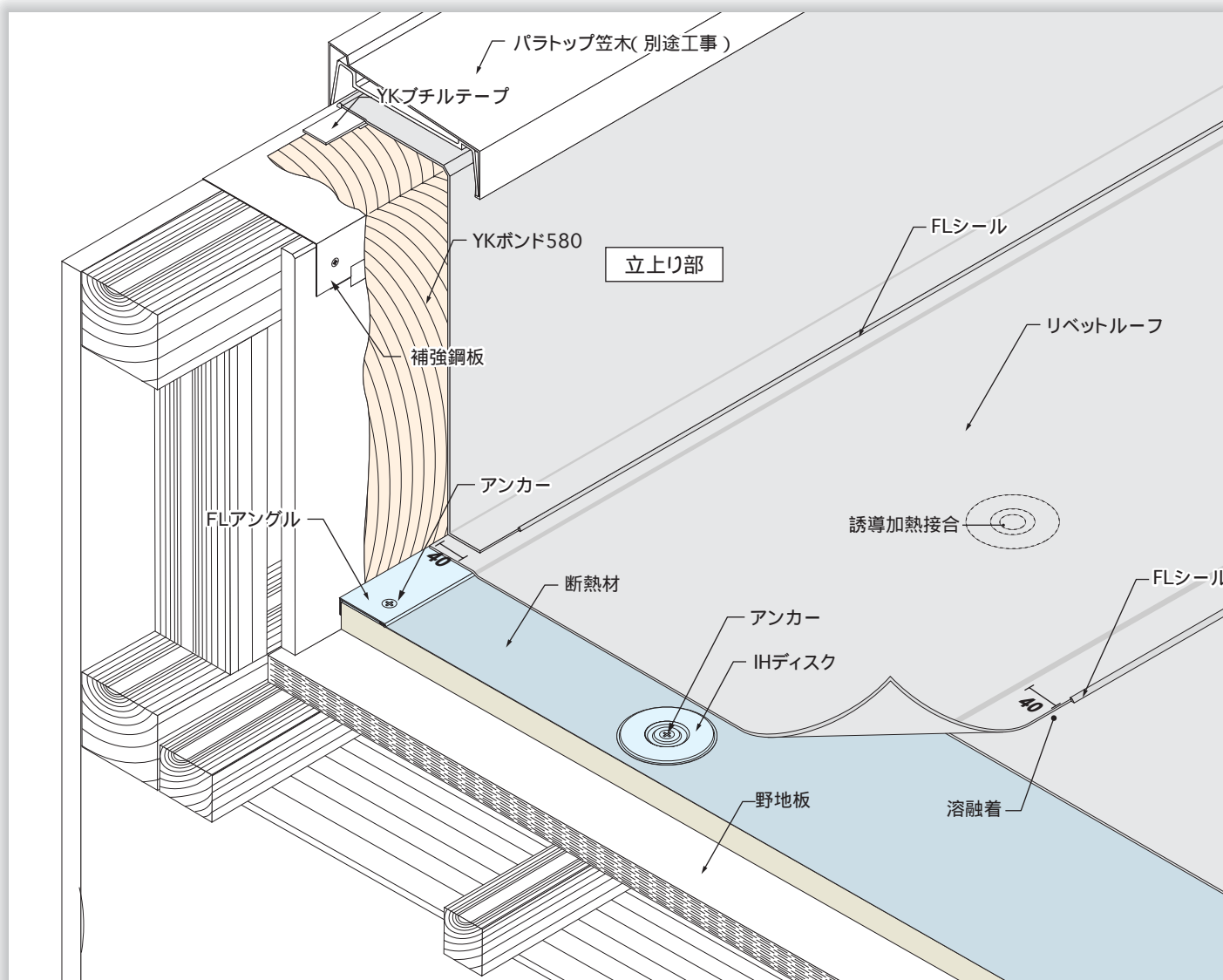
LCS工法(不燃・22条地域適用) 認定番号 DR-0154

品番	シート名	シート厚	断熱材種別
MIHW-SGM15	リベットルーフSGM	1.5	—
MIHW-HP20	リベットルーフHP	2.0	—
MIHW-SGM15NU	リベットルーフSGM	1.5	FLボードNU
MIHW-SGM15F	リベットルーフSGM	1.5	フェノールフォーム
MIHW-HP20F	リベットルーフHP	2.0	フェノールフォーム

LCS工法

飛び火認定屋根防水構法

構法種別	非歩行用屋根防水構法 / 勾配屋根用防水構法
下地種別	野地板 / 木板など



使用するアンカーについてはご相談下さい。

工程

1	断熱材敷設
2	IHディスク固定
3	FLアングル固定
4	リベットルーフの敷込み
5	リベットルーフとFLアングルの溶着接合
6	リベットルーフ相互の接合(接合部の処理:溶融着)
7	リベットルーフとIHディスク誘導加熱接合
8	接合端部の処理:FLシール

Warning!

防水工法の注意事項!

立上り部は、接着工法を標準とします。

高耐久仕様(MIHW-HP20F)の断熱材はフェノールフォームを、周辺のアングル・プレートには、FLステンレスアングル・プレートを使用します。

次のような条件の建物では、IHディスクの設置密度を上げる(数を増やす)必要があります。

- ・高さが30m以上の建物
- ・沿岸地域、高地(山の上)に立地する建物
- ・ビル風や季節風など、局部的に強風が懸念される建物

使用可能な断熱材厚さ  
(総厚さ25~150mmまで)

- ・FLボードNU/フェノールフォーム  
(飛び火試験合格DR-0154)

遮音性能を高めたいなどの場合で、断熱材にロックウールボードを採用する仕様もあります。

シート厚さ1.5mmの代わりに2.0mmを使用することも可能です。

下地の注意事項!

本仕様は野地板や木板などを下地にした防水工法及び断熱防水工法です。

適用屋根は防火・準防火地域の準耐火建築物口準不燃構造(施行令136条2の2)又は、建築基準法22条第1項屋根(施行令109条の3)。

下地規格

- ・普通合板(12mm以上)/構造用合板(12mm以上)/コンクリート型枠用合板(12mm以上)
- 硬質木毛セメント板(15mm以上)/硬質木片セメント板(12mm以上)/普通木毛セメント板(15mm以上)
- 普通木片セメント板(30mm以上)/ケイ酸カルシウム板(8mm以上)/パルプ混入ケイ酸カルシウム板(12mm以上)
- 溶融亜鉛メッキ鋼板(0.6mm以上)/熱間圧延ステンレス鋼板(0.6mm以上)/溶融亜鉛メッキ鋼板(0.6mm以上)
- 両面ポリオレフィン樹脂系塗装・アルミニウムめっきステンレス鋼板(0.6mm以上)

母屋規格

- 木製下地 ・(断面寸法 30mm×30mm以上 間隔 900mm以下)
- 鋼製下地 ・C型鋼(断面寸法 60mm×30mm×10mm×1.6mm以上 間隔 900mm以下)
- 角パイプ(断面寸法 13mm×13mm×1.6mm以上 間隔 900mm以下)

パラペット天端に、所定の補強鋼板(亜鉛メッキ鋼板 t=0.8)が固定されていること。

立上りの木片セメント板は別途工事とします。